



桜の花が舞っています。祝福の花吹雪の中、卒業証書と花束が描かれています。

今月は「卒業」という大きな節目の行事がある月です。

旅行や買い物が趣味の女性が描いて下さいました。好きなことはカラオケで歌うことと伺いました。

リズムカルに桜の花びらが舞い、新しい旅立ちの力が感じられる今月の表紙です。

卒業証書を手し、新しい世界へのスタートです。春風に乗って、新しい気持ちで春の日々、がんばって過ごしていきましょう。素敵な初春の表紙をありがとうございました。



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮膚科クリニック*

高いつもりで低いのが教養
低いつもりで高いのが気位
深いつもりで浅いのが知識
浅いつもりで深いのが欲望
厚いつもりで薄いのが人情
薄いつもりで厚いのが面皮
強いつもりで弱いのが根性
弱いつもりで強いのが自我
多いつもりで少ないのが分別
少いつもりで多いのが無駄

こんな「つもり違い十ヶ条」なるものを耳にしてハッとさせられてしまいました。

私も 40 半ばにさしかかり、ふとした時に自分の人生について考えることがあります。このままで良いのだろうか。もっとより良い人生にするためにはどうしたら良いのだろうか。

先日、STAP 細胞を発見した小保方晴子博士がハーバード大学に留学時代、研究を支えたバカンティ教授が彼女のことを「ハルコの強みはどんな時もくじけない強い心」と賞賛されています。また明治大学文学部教授 斉藤孝氏もある著書の中で、数えきれない失敗をしても「できるようになる」と信じ続ける勇気のある人にも成功はやってくる。成否を分けるのは「信じる力」なのである。と話されています。自分を信じる強い心。それを持ち続けることが出来るかどうか。

これは、私が小さい時に祖父から教えられた「決めた約束は守る」こと。この単純明快なことができる様で難しいのです。毎日毎日小さなことをしっかりコツコツ行うことが一番の近道だと思いますし、逆にこれしかないとも思います。

私の目標は常に必要とされる医師であり続けること。また、これは目標であると同時に当クリニックに来院頂ける患者様、思いを同じにがんばってくれているスタッフとの約束でもあります。そのために、日々新しい知識を取り入れ、患者様の気持ちのそばに寄り添える様、自分の感性を研ぎ澄ませ信頼関係を構築し病気を治す手助けをさせて頂くこと。より確実に新しい「美」の提供をし続けること。以前のとよ・たちにも書きましたが、私一人では診療はできません。スタッフあってのこと。そのスタッフと共に一丸となって患者様をサポートするという意識統一。

患者様には病気という気を置いていつか院外に出る時には何かスッキリした気持ちになれる様な環境の提供が出来る様にしていこうと考えております。

明日死ぬかのように生きよ。
永遠に生きるかのように学べ。
マハトマ・ガンジー

万策尽きたかと思うな。
自ら断崖絶壁の淵に立て。
その時はじめて新たなる風は必ず吹く。
松下幸之助

人生一度きり。いつかこんな人生もいいもんだと思える様、自分の限界を決めず、ひたすら目標に向かって行くにはどうしたら良いかを考え、立ち止まらず常に行動し続けます。

院長・拝